

令和4年度

山梨における 教員育成推進事業 成果パンフレット

子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会
—OPPシートによる学習・指導と評価の一体化—

初任者研修等における
山梨大学教育学部教員の派遣

Index

教育学部長挨拶 p.1

子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会 pp.2~3

初任者研修等における山梨大学教育学部教員の派遣 p.4

令和5年4月 山梨大学教育学部



山梨大学 教育学部長
服部 一秀

山梨大学教育学部は、山梨県教育委員会・山梨県総合教育センターとの連携協力のもと、教員養成と現職教員研修の充実をめざして様々な取組を進めてきております。本パンフレットでは、その一環として令和4年度に実施しました2つの教員育成推進事業について報告します。

その1つは、「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会—OPPシートによる学習・指導と評価の一体化—」です。山梨県総合教育センターとの共催により、OPPAに関する基礎研修と応用研修の2部構成による研修会を峡東教育事務所、富士川町民会館、富士・東部教育事務所の3会場で開催しました。

もう1つは、「初任者研修等における山梨大学教育学部教員の派遣」です。山梨県教育委員会・市町村教育委員会による小学校・中学校・高等学校での初任者研修等の28件の研究授業に本学部の教員を指導・助言者として派遣しました。

何れにつきましても、大変なご好評をいただきましたが、安住することなく事業の一層の改善につとめていきたいと考えております。本学部はこれからも地域に根ざした教員育成を推進してまいります。皆様のさらなるご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会

— OPPシートによる学習・指導と評価の一体化 —



事業概要

OUTLINE

峡東会場 令和4年8月1日(月) 峡東教育事務所

峡南会場 令和4年8月2日(火) 富士川町民会館

富士・東部会場 令和4年8月9日(火) 富士・東部教育事務所

講師

堀 哲夫

(元山梨大学理事・副学長)

辻本 昭彦

(法政大学生命科学部生命機能学科 准教授)



密を避けアクリル板を挟んでのワークショップ

多くの先生方が参加

本研修会は、山梨県総合教育センターとの共催事業として総合教育センターの研修計画に組み込み、県内すべての学校に周知すると共に、各地区の教育事務所にもご協力いただきました。本年度は、十分な感染防止対策を行った上で3回実施することができ、基礎研修会に104名、応用研修会に56名の参加者がありました。

わかりやすく楽しい
研修会でした！



内容

CONTENTS

基礎研修会では、堀先生からはOPPシートのねらいや作成に必要な構成要素などについてのご講義がありました。

辻本先生からはOPPシートを短時間で記号を使って見取る方法についてのワークショップなどがありました。

応用研修会では、堀先生からはOPPAと教育の本質との関わり・本質にどう迫るか、OPPシートのデザイン等についてご講義がありました。辻本先生からは成長曲線と自己肯定感についてのワークショップ、主体的に取り組む態度の評価とOPPシートの関連についてのレクチャーがありました。

◆ 受講者

基礎研修会……104名
小学校53名、中学校29名
高校8名、支援学校2名
その他(大学院等)

応用研修会……56名
小学校31名、中学校19名
高校3名、支援学校1名
その他(大学院等)



堀 哲夫 講師



辻本 昭彦 講師

OPPAとは？

OPPAとは、One Page Portfolio Assessmentの略で、「一枚ポートフォリオ評価法」と呼ばれるものです。学習者が一枚のシート(OPPシート)の中に学習の成果を学習履歴として記録し、学習の全体を学習者自身に自己評価させる方法です。シートは、次の部分に分かれています。

① 単元開始前と終了後に記入する「本質的な問い」

(教師がこの単元を通して最もつかませたい内容を問いの形で示したもの)

② 授業の中で学習者が一番大事だと思ったことや自分が考えた授業のタイトルなどを授業ごとに記入する部分

OPPAの特徴は、次のように子どもの成長と教師の成長とを繋げるところにあります。

◆ 学習者にとっては、自分の学習の成果を振り返り、自分の成長をつかむことができるもの

◆ 教師にとっては、一人一人の子どもの学びの状況を把握し、毎回の授業を振り返り、授業の改善につなげることができるもの



成果と課題

ACHIEVEMENT & TASK

研修会で各自が記入したOPPシートによると、多くの参加者が自分の授業に対する考え方が変容したり、評価方法を工夫する必要を感じたりしたことで、今後取り組みたいことが明確になったと記述していました。

◆ 研修会での OPP シートより

授業の中心は当然子供であるが、実際は教師中心になってしまっていたなどと反省した。もっと子供が何を感じ、何を考えているか、注視してみたい。評価について悩んでいたが、少し光が見えた気がした（教職経験8年目の先生より）

多忙化の中、子供の振り返りコメントを付けることが負担であり、何回かまとめて提出させることがあったが、辻本先生の具体的な観点や効率化の工夫を学び、これからの評価に活かして行きたいと思った。（教職経験27年目の先生より）

見取っているつもり、わかっているつもりでいてはいけない。子供たちの持っている力を最大限発揮させられるよう子供たちを信じて丁寧に見取っていったらいいなと感じました。（教職経験7年目の先生より）

これまで私は児童に学習内容を定着させることばかりに注力していたように思う。子供の疑問から授業を組み立てたり、ワークショップ型の授業をコーディネートできるようになったり、授業づくりの引き出しを多くし、授業力を向上させて児童の思考力の向上や成長を図りたい。（教職経験26年目の先生より）

◆ 山梨県総合教育センターの事後アンケートより

OPPシートを授業で取り入れるには私自身もいただいたデータの中にあるように時間がない…コメントする時間がない…など様々な課題があると感じています。不安の壁が一気になくなった充実した研修会でした。全ては児童の成長のために取り組むものであり、教師がOPPシートを実施してそれで満足するのではなく、児童が主体的に学習に取り組めるように活用していきたいと強く感じる事ができました。

OPPシートの活用方法や記述分析の仕方など、非常に具体的な部分に踏み込んだ内容であった。学校現場でOPPを活用する際に、毎時間の教師のコメントや評価が負担であるといった声を耳にする。しかし、今回の研修の中で、「ここぞというときにコメントをする」ということや「分析の視点を記号として示していくこと」などを教えていただいたので、より活用しやすくなるように感じた。

子供を見取るための具体的な方法や手段についてOPPAを通して学ぶことができた。子供を見取るとはその子にあった指導ができるかどうかの分かれ目であり、私たち教員が具体的な方法として持ち合わせている必要がある。多忙な現場において、時間をかけずに評価と授業改善・学習改善を効果的に進めるために、OPPAは有効なツールとなることを改めて認識した。

今回の研修では、受講している私自身も実際にコメントをつけたり、グループで考えを共有したりと、実践しながら学ぶことができたため、自分自身の教育活動にどのように取り入れていけばよいか感じながら受講することができた。主体性を育てていくためにも、OPPシートは有効であり、自己肯定感やメタ認知につながっていくことがわかった。今後、様々な場面で活用していこうと思う。

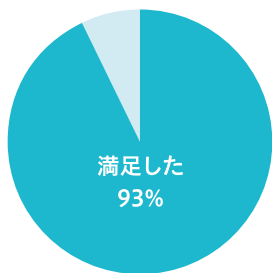
これまで何となく知っていたが活用し切れていなかったOPPシートについて、その成り立ちから構成、活用の仕方に至るまで詳しく教えていただき、大変勉強になりました。また、授業者として更に授業力をつけなければと思いました。今回の学びからできることから始めていこうという勇気もいただきました。

新学習指導要領の完全実施となり、主体的に学びに向かうという観点の評価に難しさを感じています。同じように感じている先生方も多く、また、具体的にどんなふうの評価をしているのかを聞くことも出来て良かったです。自分自身の授業改善はもちろん、今後の評価にいかしていきたいです。

今まで活用したことがなかったOPPシートですが、自分にとっても児童にとっても学習の履歴や自己の変容、振り返りが1枚でできるということで、2学期以降、ぜひ取り入れていきたいと思いました。

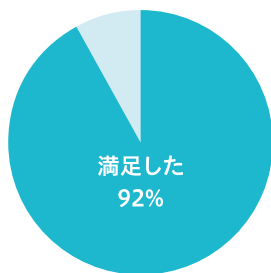
講師の堀先生のお話を聴いたり辻本先生にご紹介いただいた実践事例を見たりして、これまでの自身の授業は学習内容の定着を図ることに偏った授業であったと反省した。子どもたちがもっと学びたいと思えたり、子どもたちの思考が活性化したりするような授業を実践していきたい。

個人内評価と言われている中で、他の児童との差を考えてしまいがちでした。しかし、様々な観点で評価してみると、認めてあげられる部分が必ずあって、とても有効だと感じました。早速OPPシートを工夫して取り組んでいきたいと思います。



基礎研修会は
役立つ内容で
あったか

満足した 93%
どちらでもない 7%
満足しなかった 0%



応用研修会は
役立つ内容で
あったか

満足した 92%
どちらでもない 8%
満足しなかった 0%

本研修会を通して、評価の本質についてとらえなおし、授業に対する考え方が変容した教員が多くいました。また、研修後に実際に事業等でOPPシートが活用されたことは、大きな成果と考えます。

昨年度に引き続き、基礎研修と応用研修と分けて実施しましたが、来年度は経験した方も初めての方も深めていける内容とし、基礎、応用と分けずに実施します。今後さらに内容を充実させOPPAの理解を深めるとともに、OPPシートの活用を広めていくことで、多くの教員の授業力向上に役立てていただけるような研修にしていきたいと思います。



初任者研修等における 山梨大学教育学部教員の派遣



事業概要

OUTLINE

山梨県教育委員会との連携のもと、山梨県教育委員会・市町村教育委員会が拠点校等で行っている初任者研修へ本学部の教員を指導・助言者として派遣する事業を、県内4教育事務所・山梨県総合教育センターの全面的な協力を得て、次の通りを行ないました。

派遣期間・回数

令和4年9月9日(金)～令和5年1月27日(金) 計28回

派遣人数

延べ28人

派遣校種

小学校 15校 中学校 8校 高等学校 5校

内容

「初任者による研究授業」の参観とその後の「授業研究会」での指導・助言
(小学校:国2・算数8・道徳5
中学校:数学2・理科1・社会2・英語1・国語1・音楽1 高等学校:現代文1・家庭科1・英語2・生物1)



初任者の声

授業について、学級経営についてご指導いただき、自分が残りの初任者研修でどんなところに力を入れていかなければならないか、再確認することができました。一方で、「自分のよさ」についても気づくことができ、それはこれからの励みにしようと思うことができました。

大学の先生の視点から授業を分析していただき、授業の作り方や学級づくりについて学ぶことができました。よかった点や改善点をたくさん教えていただくことができ、とても大きな学びの機会になった。

授業をみていただき、指導助言を多くいただいたことで、自分がこれから何に気をつけて日々の授業を行っていくべきかが明確になりました。子どもの考えや意見を授業の中で生かしていけるよう、自分自身の技術を向上させていきます。

自分の指導の中で良い点を取り上げてくださったことが自信に繋がりました。また、自身の授業における課題や、今後授業を行っていく上で新しいスタイルに挑戦していくという道も開いてくださり、意欲が出てきました。

大学の先生に授業を参観していただいたことで、専門的な視点からご指導いただくことができ、とても勉強になりました。お忙しい中とは存じますが、初任者の時期だけでなく今後もご指導いただける機会があると嬉しく思います。

授業のアイデアをたくさんいただくことができました。私自身もっと学びたいと思う機会となったので、ぜひ大学と高校との連携を積極的に行っていただきたいです。

派遣教員の声

本学の卒業生の教員になってからの頑張りが見られ、よかった。教員になった卒業生に直接励ましやフォローができるので、よい取り組みであると感じる。今後も継続したい。

現場の先生方と相互に交流できる貴重な体験だった。大学教員（とくに研究者教員）と現場の方々との交流は、県内の教育水準を向上させるためにも重要だと感じた。もちろん大学教員にとっても意義があると思う。

どの学校も初任者を手厚く支えていて、頭が下がる思いでした。この事業をさらに有効活用していただくことで、初任研の指導教員の負担を減らすことができ、複数の目で初任者を育てることができると感じました。

初任者の先生が頑張っているところを見させていただけたこと、初任者を学校ぐるみで育てようとする温かさを感じることができ、山梨県の教育の明るさを感じました。

成果と課題

ACHIEVEMENT & TASK

大学教員が学校に出向き、従来とは違う視点からの指導・助言をすることで、研修をより深める一助になったと思います。また、派遣された教員にとっても、学校の様子を知る良い機会であり、今後の教員養成にも資するものと考えます。

今後、大学教員のより良い関わり方について、アンケート等を参考にしながら、さらに研究を進め、事業の充実を図ってまいります。

お問い合わせ先

山梨大学教育学域支援課

〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37
TEL.055-220-8102 FAX.055-220-8791



教育学部
イメージキャラクター
梨子ちゃんとお福くん